

入園して初日のクラス懇談会、保護者の方の側で安心して遊んでいた子どもたちは、受け入れ保育が始まると保護者の方と離れる際に手を伸ばして泣いたり、扉までハイハイをして探しに行ったりと不安な気持ちを表現していました。1か月经ち、少しずつ園生活に慣れ、保育者と目が合うとにっこり微笑んだり、楽しそうにおもちゃを振って「あー」「うー」と喃語を話したりする姿が増えてきました。眠たくなると泣いたり、ハイハイで保育者のところまでやってきて、顔をくっつけて甘えたりと仕草や表情で自分の気持ちを伝えています。また、鏡に写る自分を見つめている時、鏡越しに保育者と目が合うと“あれ？”と不思議そうな表情で振り返る姿もとてもかわいいです。

戸外では興味のあるおもちゃを見つけて触れたり、砂に足をつけて感触を楽しんだり、思い思いに好きな遊びを楽しんでいます。大学構内への散歩は、初め4人乗りバギーに乗ることに驚いて泣く子どももいましたが、今では景色の移り変わりを楽しみ、指差しをしたり、タンポポの花を握ってじっと見たりしています。春の心地良さを感じながらバギーに揺られて安心して眠る姿も見られています。

5月も一人ひとりの生活リズムを大切にしながら、バギーや抱っこ紐で大学構内への散歩を楽しんだり、園庭でシートや砂の上でひなたぼっこをしたり、室内では1対1での触れ合い遊びを楽しんだりして、子どもたちが安心して過ごせるように関わっていききたいと思います。



バギーに乗って散歩をしていると、心地良い春の風に誘われてスヤスヤ眠っていたAちゃんが突然泣き出しました。横に座っていたBちゃんは驚いた表情をした後、そっとAちゃんのお腹をポンポンと撫でて顔を覗き込んでいました。Bちゃんの気持ちが伝わってくるようで、「やさしいね」と伝えると、キョトンとした表情で保育者を見つめる姿がとても愛しかったです。

進級・入園から、1か月が経ちました。新しい環境に緊張や不安を感じて泣いていた子どもたちも、少しずつ表情が柔らかくなり、自分で好きなおもちゃを見つけて遊んだり、保育者の膝に座って落ち着いて絵本を読んだりする時間が増えてきました。朝、小グループでの会話のひと時に保育者がパペットを使って一人ひとりの名前を呼んでいます。自分の名前が呼ばれるとパペットにタッチしたり手を挙げて「はい！」と笑顔で返事をしたり、にっこり笑ったりと様々な表情や反応を見せてくれます。友だちの様子をじっと見たり、笑い合ったり、優しく触れたりする姿も少しずつ増えてきています。保育者が「〇〇ちゃんだよ」と紹介するとうなずいたり、同じように呼んでみようとする姿も見られます。これから友だちの存在を意識する場面も大切にしながら、まずは一人ひとりが安心して過ごせるように気持ちに寄り添い、ゆったりと関わっていききたいと思います。

今月は、8~9人の小グループで一緒に歩いたり避難車に乗ったりして大学構内へ散歩に出かけ、5月の自然に触れる中で、楽しさや喜びを大切に過ごしていききたいと思います。また、室内でもシール貼りやパス画など、表現する楽しさを味わえる活動も計画しています。



登園してきたBちゃんの服にアンパンマンを見つけたAちゃん。「アンパン(マン)」と指をさして大喜び。その日はAちゃんの服にもアンパンマンがいて、『いっしょ!!』と言わんばかりに見せて、笑顔と仕草で一生懸命伝えていました。登園したばかりのBちゃんもニッコリ。とてもほほえましい1コマでした。生活や遊びの中で気持ちを受け止め、代弁しながら、子ども同士で心を通わせようとする姿を大切にしていきたいと思っています。

進級・入園から、1か月が経ちました。りす組の環境や生活リズムにも少しずつ慣れ、オレンジの帽子を被ることや汽車やままごなどの新しいおもちゃで遊ぶこと、ピアノに合わせて歌をうたうことやホールでのリズム遊びなど一つひとつの経験に喜びを感じ、毎日元気いっぱい過ごしています。生活面では靴下の着脱、パジャマの着替え等、新しいことも増えてきましたが、保育者と一緒に確認しながら意欲的に取り組んでいます。「ここをもって帽子をかぶってごらん」「二つのおててで靴下を持って引っ張れるかな」など具体的に方法を伝えながら、手を添えて関わっています。子どもの『やってみよう』とする気持ちを大切にしながら、難しい部分はさりげなく援助し、自分でできた喜びが自信につながるよう関わっていききたいと思います。

今月は初めてののりを使った制作をします。指につけるのりの量は「ダンゴムシくらい」と子どもに伝えます。小さく切ったカラー段ボールに指先を動かして塗り、あじさいやかたつむりの台紙に貼ることを楽しみたいと思います。

また、戸外では虫探しや草花摘み、自然物を使ってごっこ遊びをするなど自然の中で遊ぶ面白さや楽しさを感じられるように園庭や大学の森でたくさん遊びたいと思います。そして、りす組では子どもたちと一緒にミニトマトやピーマンの夏野菜を育てます。神さまが与えてくださるいのちを大切に、毎日水をあげたりお世話をしたりし、生長を楽しみに見守っていききたいと思います。



戸外遊びでのこと。Aちゃんがダンゴムシを手の平に乗せて見ていると、Bくんがやってきました。Aちゃんの手の上でトコトコ歩くダンゴムシをじっと見てにっこり笑うBくん。そんなBくんの様子にAちゃんは「ダンゴムシいる？」と聞くと、そっと乗せてあげていました。Bくんはキラキラと目を輝かせて手の平で動くダンゴムシを嬉しそうに見つめていました。その後、ダンゴムシが丸まったり、手の平から落ちこちたりする様子を2人で見て、声を出して笑い合い、その姿にほっこりしました。これからも関わりを通して楽しさや喜びを共有できるひと時を大切に見守っていききたいと思います。